

献 辞

経済学部長 津 田 直 則

菅井勇蔵教授は、本年3月31日をもって桃山学院大学を退任されることになりました。昭和34年4月に桃山学院大学経済学部が創設されると同時に専任教員として就任されて以来、30年間にわたり大学の発展のために尽くしてこられた菅井教授にたいして深く感謝の意を表したいと存じます。30周年を機に大学も文学部が増設されることになり、新たな節目を迎えようとしていますが、菅井教授は本学の歴史とともに歩んでこられた生き証人の一人と言えますでしょう。

大学行政の面では、二度の経済学部長、図書館長、昭和町時代の教務部長、大学紛争時代の学長事務取扱、就職委員長、設立初期の生協理事長、経済経営学会会長など多方面にわたりご尽力いただきました。また、法人・高校関係の業務においても、理事、常務理事、中高校長などの重要な役職に携わってこられました。桃山学院を今日の姿にまで発展させるために、多くの方々が努力されてこられたことは「桃山学院百年史」の中で詳しく述べられていますが、大学創立初期の多くの困難な問題に直面された菅井教授には、ご苦勞も多かったことと推察いたします。大学の30年の歴史を体験に基づいて語れる数少ない教員として、我々は菅井教授の名前を忘れるわけにはいきません。

担当科目では財政学、地方財政、財政政策、公共経済論、演習など多くをご担当いただきました。自説を雄弁に説かれる菅井教授の熱気ある講義は学生達にとっても興味ある授業であったと思います。経済学部の研究、教育、人事等の面で多くのご指導を仰ぐことができたことは、我々経済学部教員にとり幸いであったと心より感謝申し上げる次第です。

また菅井教授は大学の内部だけでなく、地域社会に対しても多大の貢献をされています。地方財政の専門家の立場から地方自治体が設けた医療問題審議会、建設審議会、基本計画審議会等における役職を引き受けられ、自治体の相談役としての役割を果たしてこられました。また、商業問題では、高槻市、堺市の商業活動調整協議会会長、大阪府大規模小売店舗審議会委員などを通じて、小売業界の発展のために努力されておられます。この分野での菅井教授の権威は人の知るところであります。

長年にわたり大学の発展のために貢献された業績を称え、桃山学院大学は菅井教授に名誉教授の称号を授与することを決定いたしました。今後の菅井先生の益々のご清栄とご健康を祈念し献辞の言葉といたします。

1989年1月14日